



(仮称) 光の森多目的広場の整備内容をお知らせします

☎ 総務課 復興推進係 ☎ (232) 2111

平成29年8月9日・10日に実施した整備概要説明会には、多数の住民の皆さまのご参加をいただき、また、たくさんのご意見をいただきありがとうございました。加えて、8月に実施したパブリックコメントでも多くのご意見をいただきありがとうございました。

皆さまから寄せられたご意見を参考に、整備内容を決定しましたので、その内容をお知らせします。

町の西部地区が住宅密集地であることや、商業施設の立地で平日休日問わず来訪者が多いこと、また熊本地震の際に光の森町民センターが大変混雑したことなどから、本広場は、防災機能を整備して大規模災害時の被災者支援拠点として位置付け、防災広場として整備することとしました。市街地の空間をしっかりと確保し、平常時の利便性を高めることが、良質な住生活環境を保ち、安全・安心なまちづくりに最も効果的であると考えています。

〈防災広場〉部分は、災害時のヘリコプター発着もできるよう、一辺100m以上を確保しました。発災直後は車での避難にも対応できる一方、自衛隊の入浴支援や給水などのように、数日後から本格化する広いスペースを必要とする支援の拠頭に活用できます。車両乗り入れや砂ぼこり対策、地球温暖化対策、平常時の利用のしやすさを目的に、全面に芝を張ることにしました。

広場の園路はゴムチップ舗装にすることで、ランニングに利用できるほか、災害時には車路として利用します。休憩用のベンチも用意し、日よけのあずまやはテント生地のカートを備え、災害時にはプライバシーに配慮した利用も可能です。トイレが不足する場合に備え、マンホールトイレも用意しています。

熊本地震で最も重要性を感じた飲料水は、60トンの耐震性貯水槽を設置して備えます。光の森町民センター“キャロピア”に設置しているものと異なるタイプを用意することで、さらなる備えとします。

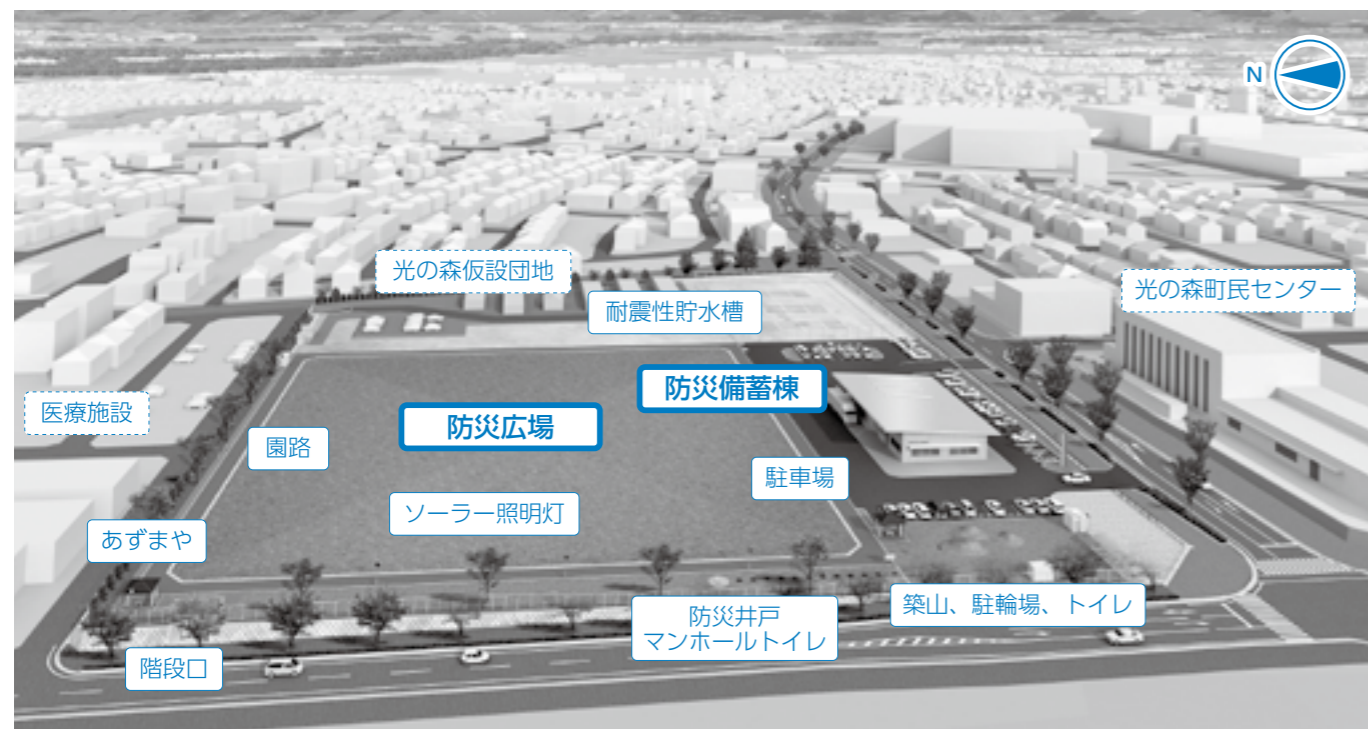
これまでの災害の教訓から、災害時の子どもたちのストレス解消の手段となるよう、築山を用意しました。もちろん平常時も使うことができます。

駐車場は50台以上を用意しています。

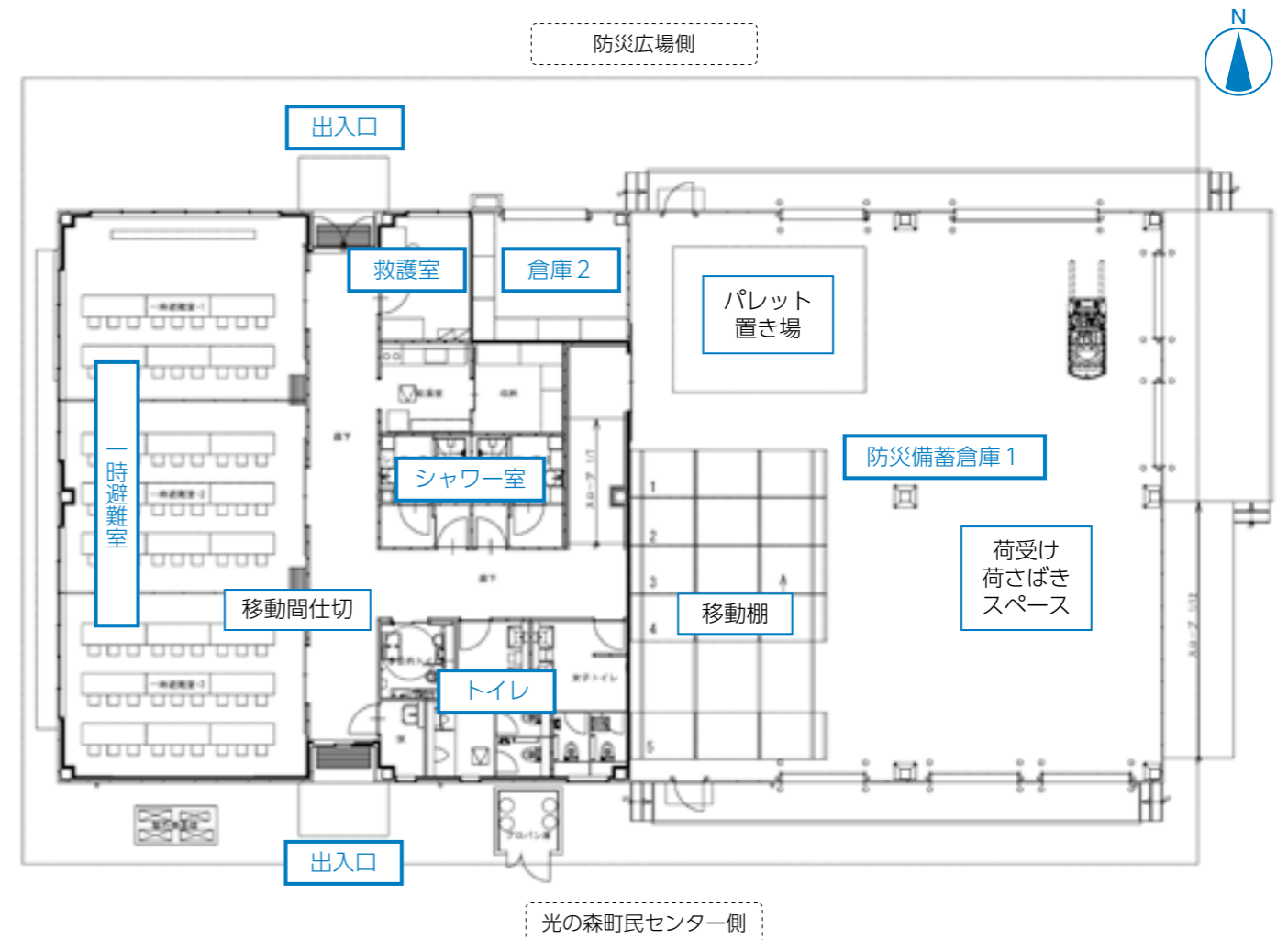
計画に反映した主なご意見

- あずまやは運用に手間が掛からないもの
→ 平常時も災害時も使いやすいものを選択
- グラウンドに芝を → 全面に芝に
- 照明の数 → 太陽電池式を10基追加

■ (仮称) 光の森多目的広場 (防災広場) 完成予想図



■ 防災備蓄棟平面図



〈防災備蓄棟〉は、大規模災害発生直後の一時的な避難施設としての性格と、その後の被災者支援拠点としての性格の両方を持っています。妊婦や高齢者など配慮が必要な人々の避難に利用できるよう、避難室は移動間仕切りで区切ることができます。また、応急処置のための部屋も用意しています。

備蓄倉庫には、非常用食料、日用品、テント、ブルーシートなど、災害時に必要なものを用意します。また、この倉庫は、西部地区における支援物資の集配拠点となります。そのため、物流会社からアドバイスを受けて、支援物資を運搬する大型トラックでの荷降ろしや各避難所へ配送するための荷造り、備蓄物資の管理などがしやすい設計としています。

工事費用は合わせて約6億円を見込んでおり、そのうち、およそ50%は国土交通省からの補助金を受けることとなっています。また、住民の皆さまから頂いたご意見のうち計画に反映したものについてはここに掲載しましたが、その他の昨年8月の説明会及びパブリックコメントの意見は、町のホームページに掲載しています。併せてご覧ください。

計画に反映した主なご意見

- 避難室を広くしてほしい
→ 計画当初より広げました
- 子どものストレスを解消しやすい避難室に
→ 壁面の一部をホワイトボード仕様に
- 妊婦や乳幼児にやさしい施設に
→ 移動間仕切りやトイレにはおむつ替えシートなどを用意

4月から利用を停止します

整備工事は、4月から予定しています。そのため、4月以降は現在の多目的広場の利用ができなくなりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、3月までに工事の一部を先行して行う予定としています。決まり次第、広報やホームページでお知らせします。